

平成31年度視覚障害者，聴覚障害者，肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部において使用する中学校用教科用図書

特別の教科 道徳

選 定 資 料

【案】

平成30年6月

広島県教育委員会

## 目 次

選定資料について .....	1
調査研究上の観点等 .....	2
調査研究種目一覧 .....	3
特別の教科 道徳 .....	4

## 選定資料について

この資料は、「中学校用教科書目録（平成31年度使用）」に登載された中学校用教科用図書（特別の教科 道徳）について、2ページに示す観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものである。

なお、記載の順序は、「中学校用教科書目録（平成31年度使用）」に登載されている発行者順とし、発行者名は次のとおり略称で表した。

番号	略称	発行者
2	東書	東京書籍株式会社
11	学図	学校図書株式会社
17	教出	教育出版株式会社
38	光村	光村図書出版株式会社
116	日文	日本文教出版株式会社
224	学研	株式会社学研教育みらい
232	廣あかつき	廣濟堂あかつき株式会社
233	日科	日本教科書株式会社

## 調査研究上の観点等

障害種別		視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
生徒の実態		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視力、視野、まぶしさ等、視機能に障害があるため、細部を捉えたり、図などの全体像を捉えたりすることに困難がある。</li> <li>・大型の視覚教材の認知、器具・道具等の使用や観察、採集、実験、計測・計量等の学習が困難であるため、学習環境の整備、視覚情報の聴覚情報化、教材・教具の工夫、視覚補助具等の指導等の配慮・工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害のため、聴覚を通じた情報の獲得やコミュニケーションの成立に困難がある。</li> <li>・音声情報の不足のため、言語習得や言語概念の形成等に困難があり、言語の指導に配慮・工夫が必要である。</li> <li>・学習において、視覚情報による情報補完が有効である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上肢、下肢又は体幹の運動・動作の障害のため、起立、歩行、書写、食事、衣服の着脱等、日常生活の運動・動作に困難がある。</li> <li>・随伴する障害として、言語障害、視覚障害、聴覚障害等がみられることがある。</li> <li>・移動に困難があるため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気が長期にわたっており、その間継続して医療又は生活規制が必要である。</li> <li>・原因となる疾患は、心身症、神経疾患、悪性新生物、呼吸器疾患等多岐にわたっている。</li> <li>・随伴する障害として、肢体不自由、言語障害等がみられることがある。</li> <li>・入院のため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。</li> </ul>
調査研究の観点	内容の取扱い等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の理解に関わる内容がある。</li> <li>・触覚や聴覚等を活用した学習内容がある。</li> <li>・情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の理解に関わる内容がある。</li> <li>・情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> <li>・実験・観察等の手順及び用具の扱い方が写真やイラストとともに説明された内容がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の理解に関わる内容がある。</li> <li>・肢体不自由があっても学習可能な内容がある。</li> <li>・情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の理解に関わる内容がある。</li> <li>・病弱・身体虚弱があっても学習可能な内容がある。</li> <li>・健康・医療・病気に関わる内容がある。</li> <li>・情報機器の活用等に関わる内容がある。</li> </ul>
	表記・表現及び使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の大きさ</li> <li>・総ページ数</li> <li>・教材等の総数</li> <li>・文字ポイント                             <ul style="list-style-type: none"> <li>本文（通常、最小）</li> <li>欄外（通常、最小）</li> </ul> </li> <li>・折込ページ数</li> <li>・要点の示し方                             <ul style="list-style-type: none"> <li>囲みの有無</li> <li>着色の有無</li> <li>文字の大きさ（通常、最小）</li> <li>その他</li> </ul> </li> <li>・写真・図表・グラフ・絵の掲載数</li> <li>・書き込み欄の大きさ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>罫線の有無</li> <li>行間</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声、音楽、音等を扱った内容がある(オノマトペは含まない)。</li> <li>・インタビュー活動等、音声言語によるコミュニケーションを扱った内容がある。</li> <li>・学習のめあてが長文で示された内容がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。</li> <li>・体育的活動や身体表現を含む内容がある。</li> <li>・肢体不自由のある生徒にとって安全への配慮を要する内容がある。</li> <li>・空白の欄に記入する課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容がある。</li> <li>・アレルギー等病気に対する配慮が必要な内容がある。</li> <li>・体育的活動や身体表現を含む内容がある。</li> <li>・校内や学校周辺では学習できない内容がある。</li> </ul>
		<p style="text-align: center;">記載上の注意事項</p> <p>学年及び単元を絞って比較を行った項目は、※で比較箇所を明示する。</p> <p>※による特記のない項目については、学年表記のあるものを除き、全学年に共通した特徴や全学年の合計数を記載する。</p> <p>「平成 31 年度使用中学校用教科用図書 特別の教科 道徳 選定資料」と重複する項目は省略した。</p>			

## 調 査 研 究 種 目 一 覧

障害種別 調査研究種目	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
道徳	/	○	○	○

特別の教科 道徳(聴覚障害)

発行者の番号・略称		2 東書		11 学図		
書名		新しい道徳		輝け 未来 中学校道徳		
聴覚障害のある 生徒が興味・関 心等をもって取 り組むことがで きる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 14 例: 3年「たんぼぼ作業所」で、障 害がある人の自立を援助するた めに作られた福祉施設で働く職員の 話を取り上げている。		教材数 7 例: 2年「『これ以上、がんばれな い。』って平気な顔で言うな。」で、 車椅子ランナーの男性が、目標に 向かって頑張る姿を取り上げている。		
	情報機器の活用等に関わる内容 がある。	教材数 7 例: 2年「奇跡の一週間」で、絵本 の挿絵をパソコンで、命の限り描く 末期ガンの患者の生き方を取り上 げている。		教材数 9 例: 3年「誰が本当の作者？」で、 ホームページを利用する際の留意 点を取り上げている。		
	音声、音楽、音等を扱った内容が ある(オノマトペは含まない)。	教材数 6 例: 3年「くちびるに歌をもて」で、船 が沈没し、海に投げ出された男性 が、歌によって助けられた話を取り 上げている。		教材数 7 例: 1年「合唱コンクール」で、コン クールに向けた練習において、 徐々に歌声が変わり、クラスが一 つにまとまっていく話を取り上げて いる。		
	インタビュー活動等、音声言語に よるコミュニケーションを扱った内 容がある(クラスメイトとの話し合い 活動は含めない)。	教材数 0		教材数 0		
表記・表現及び 使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		AB		AB	
	総ページ数		580 ページ		682 ページ	
	教材等の総数		144		117	
	文字の大き さ※1	本文(通常, 最小)	通常: 13ポイント	最小: 10ポイント	通常: 14ポイント	最小: 10.5ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常: 8ポイント	最小: 8ポイント	通常: 8ポイント	最小: 8ポイント
	折込ページ数		6枚(24ページ分)		—	
	要点の示し 方※2	囲みの有無	有		有	
		着色の有無	有		有	
		文字の大きさ	通常: 10ポイント	最小: 10ポイント	通常: 10.5ポイント	最小: 10.5ポイント
		その他	—		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		161点		221点		
書き込み欄 の大きさ※ 3	罫線の有無	有		無		
	行間	7.5mm		—		

各校共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」等

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(聴覚障害)

発行者の番号・略称		17 教出		38 光村		
書名		中学道徳 とびだそう未来へ		中学道徳 きみが いちばん ひかるとき		
聴覚障害のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 12 例: 2年「たったひとつのたからもの」で、ダウン症の子供を思う母親の気持ちを取り上げている。		教材数 14 例: 1年「ヘレンと共にーアニー・サリバン」目が見えず、耳も聞こえないヘレン・ケラーの家庭教師となったアニー・サリバンの話を取り上げている。		
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 5 例: 2年「本当の友達って」で、スマートフォンでのメールを通じた友達との関わりの中で、苦悩する少年の話を取り上げている。		教材数 7 例: 1年「私の話を聞いてね」で、手に障害のある高校生が写真共有サイトを通じてお互いに理解し合うことの大切さを発信する話を取り上げている。		
聴覚障害への配慮を要する内容等	音声、音楽、音等を扱った内容がある(オノマトペは含まない)。	教材数 7 例: 2年「ローマ字にこめたヘボンの思い」で、日本語に近い発音となるよう、ローマ字表記を考えたヘボンの話を取り上げている。		教材数 1 例: 1年「初めての伴奏」で、コンクールに向けた練習において、伴奏者の演奏とクラスの歌声が1つになっていく話を取り上げている。		
	インタビュー活動等、音声言語によるコミュニケーションを扱った内容がある(クラスメイトとの話し合い活動は含めない)。	教材数 0		教材数 2 例: 2年「大人と接するとき」で、社会で通用する言葉遣いや話し方を練習する活動がある。		
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		B5		B5	
	総ページ数		568 ページ		695 ページ	
	教材等の総数		120		154	
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常: 13ポイント	最小: 10.5ポイント	通常: 12ポイント	最小: 10ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常: 9ポイント	最小: 9ポイント	通常: 8ポイント	最小: 8ポイント
	折込ページ数		3枚(18ページ分)		3枚(12ページ分)	
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		有	
		着色の有無	有		有	
文字の大きさ		通常: 10.5ポイント	最小: 10.5ポイント	通常: 10ポイント	最小: 10ポイント	
その他		—		—		
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		160点		240点		
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	無		無		
	行間	—		—		

各社共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(聴覚障害)

発行者の番号・略称		116 日文	224 学研			
書名		中学道徳 あすを生きる	中学生の道徳 明日への扉			
聴覚障害のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 10 例: 2年「最後のパートナー」で、引退した盲導犬を引き取るボランティアの話を取り上げている。	教材数 16 例: 3年「五井先生と太郎」で、耳の聞こえない両親をもつ生徒と、その生徒を思いやる担任の話を取り上げている。			
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 10 例: 3年「ネットワーク社会の落とし穴」で、インターネットを利用する際の危険性や留意点について取り上げている。	教材数 10 例: 1年「ロボット研究」で、ロボットや人工知能の研究など科学の進歩について取り上げている。			
聴覚障害への配慮を要する内容等	音声、音楽、音等を扱った内容がある(オノマトペは含まない)。	教材数 5 例: 1年「違いを乗り越えて」で、そばをすする音について、日本人とインドネシア人が価値観の違いを語り合う場面がある。	教材数 4 例: 3年「亡き母へのトランペット」で、地震で家族を亡くした少女が、コンサートでトランペットの音を家族に届ける話が取り上げられている。			
	インタビュー活動等、音声言語によるコミュニケーションを扱った内容がある(クラスメイトとの話し合い活動は含めない)。	教材数 2 例: 1年「『愛情貯金をはじめませんか』で、「おはようございます」を2つの言い方で言い合い、感じたことを伝え合う活動がある。	教材数 0			
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)	B5(B5)		A4		
	総ページ数	720 ページ		554 ページ		
	教材等の総数	158		185		
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常: 13ポイント	最小: 9ポイント	通常: 13ポイント	最小: 10ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常: 9ポイント	最小: 8ポイント	通常: 8ポイント	最小: 8ポイント
	折込ページ数	—		—		
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		無	
		着色の有無	有		無	
		文字の大きさ	通常: 10ポイント	最小: 9ポイント	通常: 10ポイント	最小: 10ポイント
		その他	写真4点, 挿絵1点		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★	335点		253点			
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	無		無		
	行間	—		—		

各校共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(聴覚障害)

発行者の番号・略称		232 廣あかつき	233 日科			
書名		中学生の道徳	道徳 中学校			
聴覚障害のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 14 例: 1年「二枚の写真」で、筋ジストロフィーの生徒と、同級生との交流を取り上げている。	教材数 14 例: 3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」で、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の新聞記事を基にした討論について取り上げている。			
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 7 例: 2年「いつでも・どこでも・誰とでも」で、時と場に応じた情報機器の利用や、人とのコミュニケーションの在り方について取り上げている。	教材数 5 例: 1年「グループ」で、スマートフォンのグループトークによるコミュニケーションの問題を取り上げている。			
聴覚障害への配慮を要する内容等	音声、音楽、音等を扱った内容がある(オノマトペは含まない)。	教材数 4 例: 1年「音を宿す」で、音にこだわって太鼓を作り続けてきた職人の話を取り上げている。	教材数 7 例: 2年「だから歌い続ける」で、性同一性障害である生徒が、男性の声に変わることに悩む描写がある。			
	インタビュー活動等、音声言語によるコミュニケーションを扱った内容がある(クラスメイトとの話し合い活動は含めない)。	教材数 0	教材数 0			
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		AB(AB)		B5	
	総ページ数		720 ページ		582 ページ	
	教材等の総数		123		156	
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常: 13ポイント	最小: 10.5ポイント	通常: 12ポイント	最小: 12ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常: 9ポイント	最小: 9ポイント	通常: 8ポイント	最小: 8ポイント
	折込ページ数		—		—	
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		有	
		着色の有無	有		有	
		文字の大きさ	通常10.5ポイント	最小: 10.5ポイント	通常: 12ポイント	最小: 12ポイント
		その他	—		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		103点		134点		
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	有		無		
	行間	8mm		—		

各社共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(肢体不自由)

発行者の番号・略称		2 東書		11 学図		
書名		新しい道徳		輝け 未来 中学校道徳		
肢体不自由のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 14 例:3年「たんぼぼ作業所」で、障害がある人の自立を援助するために作られた福祉施設で働く職員の話を取り上げている。		教材数 7 例:2年「『これ以上、がんばれない。』って平気な顔で言うな。」で、車椅子ランナーの男性が、目標に向かって頑張る姿を取り上げている。		
	情報機器の活用等に関する内容がある。	教材数 7 例:2年「奇跡の一週間」で、絵本の挿絵をパソコンで、命の限り描く末期ガンの患者の生き方を取り上げている。		教材数 9 例:3年「誰が本当の作者？」で、ホームページを利用する際の留意点を取り上げている。		
肢体不自由への配慮を要する内容等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 9 例:2年「お弁当のことで文句を言われた場面をやってみよう」で、被災地でお弁当を配る人と並んでいる人の役に分かれて演技をする活動がある。		教材数 1 例:1年「聞こう・話そう さいころトーク」で、さいころを振ったり、うなずきながら友達の話の聞いたりする活動がある。		
	空白の欄に記入する課題がある。	教材数 29 例:1年「いのちって何だろう」で、自分の残された命をどう生きたいかについて空白に記入する課題がある。		教材数 70 例:3年「和田真由美さんの手記」で、「生命のかけがえのなさ」について、感じたり、思ったりしたことを空白に記入する課題がある。		
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		AB		AB	
	総ページ数		580 ページ		682 ページ	
	教材等の総数		144		117	
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常:13ポイント	最小:10ポイント	通常:14ポイント	最小:10.5ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常:8ポイント	最小:8ポイント	通常:8ポイント	最小:8ポイント
	折込ページ数		6枚(24ページ分)		—	
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		有	
		着色の有無	有		有	
		文字の大きさ	通常:10ポイント	最小:10ポイント	通常:10.5ポイント	最小:10.5ポイント
		その他	—		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		161点		221点		
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	有		無		
	行間	7.5mm		—		

各社共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」等

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(肢体不自由)

発行者の番号・略称		17 教出		38 光村		
書名		中学道徳 とびだそう未来へ		中学道徳 きみが いちばん ひかるとき		
肢体不自由のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 12 例: 2年「たったひとつのたからもの」で、ダウン症の子供を思う母親の気持ちを取り上げている。		教材数 14 例: 1年「ヘレンと共にーアニー・サリバン」目が見えず、耳も聞こえないヘレン・ケラーの家庭教師となったアニー・サリバンの話を取り上げている。		
	情報機器の活用等に関する内容がある。	教材数 5 例: 2年「本当の友達って」で、スマートフォンでのメールを通じた友達との関わりの中で、苦悩する少年の話を取り上げている。		教材数 7 例: 1年「私の話を聞いてね」で、手に障害のある高校生が写真共有サイトを通じてお互いに理解し合うことの大切さを発信する話を取り上げている。		
肢体不自由への配慮を要する内容等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 4 例: 3年「校長先生の模擬面接」で、マナーやエチケットに関する場面を考えて、役割演技をする活動がある。		教材数 2 例: 1年「誰のため? 何のため?」で、ボランティア活動を計画・実行し、振り返る活動がある。		
	空白の欄に記入する課題がある。	教材数 14 例: 1年「あなたならどうしますか」で、物語の続きの展開を考え、その理由を空白に記入する課題がある。		教材数 11 例: 3年「人生目標年表を書こう」で、自分の将来を想像して、人生目標を年表軸に沿って記入する課題がある。		
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		B5		B5	
	総ページ数		568 ページ		695 ページ	
	教材等の総数		120		154	
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常: 13ポイント	最小: 10.5ポイント	通常: 12ポイント	最小: 10ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常: 9ポイント	最小: 9ポイント	通常: 8ポイント	最小: 8ポイント
	折込ページ数		3枚(18ページ分)		3枚(12ページ分)	
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		有	
		着色の有無	有		有	
		文字の大きさ	通常: 10.5ポイント	最小: 10.5ポイント	通常: 10ポイント	最小: 10ポイント
		その他	—		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		160点		240点		
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	無		無		
	行間	—		—		

各校共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(肢体不自由)

発行者の番号・略称		116 日文		224 学研		
書名		中学道徳 あすを生きる		中学生の道徳 明日への扉		
肢体不自由のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 10 例: 2年「最後のパートナー」で、引退した盲導犬を引き取るボランティアの話を取り上げている。		教材数 16 例: 3年「五井先生と太郎」で、耳の聞こえない両親をもつ生徒と、その生徒を思いやる担任の話を取り上げている。		
	情報機器の活用等に関する内容がある。	教材数 10 例: 3年「ネットワーク社会の落とし穴」で、インターネットを利用する際の危険性や留意点について取り上げている。		教材数 10 例: 1年「ロボット研究」で、ロボットや人工知能の研究など科学の進歩について取り上げている。		
肢体不自由への配慮を要する内容等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 5 例: 2年「包む」で、日本の文化を理解するために、ふるしきを使ってものを包み、友達と受け渡しをする活動がある。		教材数 4 例: 2年「キャッチボール」で、通路でのマナーを考えるために、キャッチボールをする役と通行人の役になって、役割演技をする活動がある。		
	空白の欄に記入する課題がある。	教材数 105 例: 1年「サッカーの漫画を描きたい」で、努力をするために大切なことを考え、空白に記入する課題がある。		教材数 34 例: 1年「キャッチ アンド リリース」で、外来種生物、在来種について調べ、記入する課題がある。		
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		B5(B5)		A4	
	総ページ数		720 ページ		554 ページ	
	教材等の総数		158		185	
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常: 13ポイント	最小: 9ポイント	通常: 13ポイント	最小: 10ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常: 9ポイント	最小: 8ポイント	通常: 8ポイント	最小: 8ポイント
	折込ページ数		—		—	
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		無	
		着色の有無	有		無	
		文字の大きさ	通常: 10ポイント	最小: 9ポイント	通常: 10ポイント	最小: 10ポイント
		その他	写真4点, 挿絵1点		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		335点		253点		
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	無		無		
	行間	—		—		

各社共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(肢体不自由)

発行者の番号・略称		232 廣あかつき		233 日科		
書名		中学生の道徳		道徳 中学校		
肢体不自由のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 14 例:1年「二枚の写真」で、筋ジストロフィーの生徒と、同級生との交流を取り上げている。		教材数 14 例:3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」で、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の新聞記事を基にした討論について取り上げている。		
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 7 例:2年「いつでも・どこでも・誰とでも」で、時と場に応じた情報機器の利用や、コミュニケーションの在り方について取り上げている。		教材数 5 例:1年「グループ」で、スマートフォンのグループトークによるコミュニケーションの問題を取り上げている。		
肢体不自由への配慮を要する内容等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 0		教材数 0		
	空白の欄に記入する課題がある。	教材数 67 例:2年「樹齢七千年の杉」で、自然とどのように関わっていくべきか、自分の考えを空白に記入する課題がある。		教材数 7 例:3年「学校や学級集団の一員として」で、学校や学級の良いところを空白に記入する課題がある。		
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		AB(AB)		B5	
	総ページ数		720 ページ		582 ページ	
	教材等の総数		123		156	
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常:13ポイント	最小:10.5ポイント	通常:12ポイント	最小:12ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常:9ポイント	最小:9ポイント	通常:8ポイント	最小:8ポイント
	折込ページ数		—		—	
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		有	
		着色の有無	有		有	
		文字の大きさ	通常10.5ポイント	最小:10.5ポイント	通常:12ポイント	最小:12ポイント
		その他	—		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		103点		134点		
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	有		無		
	行間	8mm		—		

各校共通の比較箇所

※1: 第2・3学年「足袋の季節」

※2: 第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3: 第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★: 第1学年

特別の教科 道徳(病弱)

発行者の番号・略称		2 東書		11 学図	
書名		新しい道徳		輝け 未来 中学校道徳	
病弱・身体虚弱 の生徒が興味・ 関心等をもって 取り組むことが できる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 14 例:3年「たんぼぼ作業所」で、障害がある人の自立を援助するために作られた福祉施設で働く職員の話を取り上げている。		教材数 7 例:2年「『これ以上、がんばれない。』って平気な顔で言うな。」で、車椅子ランナーの男性が、目標に向かって頑張る姿を取り上げている。	
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 7 例:2年「奇跡の一週間」で、絵本の挿絵をパソコンで、命の限り描く末期ガンの患者の生き方を取り上げている。		教材数 9 例:3年「誰が本当の作者？」で、ホームページを利用する際の留意点を取り上げている。	
	健康・医療に関わる内容がある。	教材数 16 例:2年「心に寄りそう」で、ガンの患者と接する際、心に寄り添うことを大切にしている看護師の話を取り上げている。		教材数 10 例:3年「幻のノーベル賞ーガンの研究に生涯をかけた山極勝三郎ー」で、ガンの研究に功績を残した男性の話を取り上げている。	
病弱・身体虚弱 の障害への配慮 を要する内容 等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 9 例:2年「お弁当のことで文句を言われた場面をやってみよう」で、被災地でお弁当を配る人と並んでいる人の役に分かれて演技をする活動がある。		教材数 1 例:1年「聞こう・話そう さいころトーク」で、さいころを振ったり、うなずきながら友達の話の聞いたりする活動がある。	
		表記・表現及び 使用上の便宜		表記・表現及び 使用上の便宜	
本の大きさ(別冊版)		AB		AB	
総ページ数		580 ページ		682 ページ	
教材等の総数		144		117	
文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常:13ポイント	最小:10ポイント	通常:14ポイント	最小:10.5ポイント
	欄外(通常, 最小)	通常:8ポイント	最小:8ポイント	通常:8ポイント	最小:8ポイント
折込ページ数		6枚(24ページ分)		—	
要点の示し 方※2	囲みの有無	有		有	
	着色の有無	有		有	
	文字の大きさ	通常:10ポイント	最小:10ポイント	通常:10.5ポイント	最小:10.5ポイント
	その他	—		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		161点		221点	
書き込み欄 の大きさ※3	罫線の有無	有		無	
	行間	7.5mm		—	

各社共通の比較箇所

※1:第2・3学年「足袋の季節」

※2:第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」等

※3:第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★:第1学年

特別の教科 道徳(病弱)

発行者の番号・略称		17 教出	38 光村	
書名		中学道徳 とびだそう未来へ	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	
病弱・身体虚弱 の生徒が興味・ 関心等をもって 取り組むことが できる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 12 例:2年「たったひとつのたからもの」で、ダウン症の子供を思う母親の気持ちを取り上げている。	教材数 14 例:1年「ヘレンと共にーアニー・サリバン」目が見えず、耳も聞こえないヘレン・ケラーの家庭教師となったアニー・サリバンの話を取り上げている。	
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 5 例:2年「本当の友達って」で、スマートフォンでのメールを通じた友達との関わりの中で、苦悩する少年の話を取り上げている。	教材数 7 例:1年「私の話を聞いてね」で、手に障害のある高校生が写真共有サイトを通じてお互いに理解し合うことの大切さを発信する話を取り上げている。	
	健康・医療に関わる内容がある。	教材数 14 例:2年「国境なき医師団・貫戸朋子」で、国境なき医師団の日本人医師が、自分の経験を通して命について問いかける話を取り上げている。	教材数 6 例:1年「旗」で、交通事故に遭って療養している少女が、クラスの友達が作ってくれたクラス旗を見て励まされる話を取り上げている。	
病弱・身体虚弱 の障害への配慮 を要する内容等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 4 例:3年「校長先生の模擬面接」で、マナーやエチケットに関する場面を考えて、役割演技をする活動がある。	教材数 2 例:1年「誰のため?何のため?」で、ボランティア活動を計画・実行し、振り返る活動がある。	
		本の大きさ(別冊版)	B5	B5
総ページ数		568 ページ	695 ページ	
教材等の総数		120	154	
文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常:13ポイント 最小:10.5ポイント	通常:12ポイント 最小:10ポイント	
	欄外(通常, 最小)	通常:9ポイント 最小:9ポイント	通常:8ポイント 最小:8ポイント	
折込ページ数		3枚(18ページ分)	3枚(12ページ分)	
表記・表現及び 使用上の便宜	要点の示し 方※2	囲みの有無	有	有
		着色の有無	有	有
		文字の大きさ	通常:10.5ポイント 最小:10.5ポイント	通常:10ポイント 最小:10ポイント
		その他	—	—
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		160点	240点	
書き込み欄 の大きさ※3	罫線の有無	無	無	
	行間	—	—	

各社共通の比較箇所

※1:第2・3学年「足袋の季節」

※2:第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3:第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★:第1学年

特別の教科 道徳(病弱)

発行者の番号・略称		116 日文		224 学研	
書名		中学道徳 あすを生きる		中学生の道徳 明日への扉	
病弱・身体虚弱 の生徒が興味・ 関心等をもって 取り組むことが できる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 10 例:2年「最後のパートナー」で、引退した盲導犬を引き取るボランティアの話を取り上げている。		教材数 16 例:3年「五井先生と太郎」で、耳の聞こえない両親をもつ生徒と、その生徒を思いやる担任の話を取り上げている。	
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 10 例:3年「ネットワーク社会の落とし穴」で、インターネットを利用する際の危険性や留意点について取り上げている。		教材数 10 例:1年「ロボット研究」で、ロボットや人工知能の研究など科学の進歩について取り上げている。	
	健康・医療に関わる内容がある。	教材数 13 例:3年「iPS細胞で難病を治したい」で、世界で初めてiPS細胞を作り出した日本人の話を取り上げている。		教材数 11 例:2年「絶やしてはならない 緒方洪庵」で、天然痘から人々を救うために尽力した医者緒方洪庵の話を取り上げている。	
病弱・身体虚弱 の障害への配慮 を要する内容等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 5 例:2年「包む」で、日本の文化を理解するために、ふるしきを使ってものを包み、友達と受け渡しをする活動がある。		教材数 4 例:2年「キャッチボール」で、通路でのマナーを考えるために、キャッチボールをする役と通行人の役になって、役割演技をする活動がある。	
		表記・表現及び 使用上の便宜		表記・表現及び 使用上の便宜	
本の大きさ(別冊版)		B5(B5)		A4	
総ページ数		720 ページ		554 ページ	
教材等の総数		158		185	
文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常:13ポイント	最小:9ポイント	通常:13ポイント	最小:10ポイント
	欄外(通常, 最小)	通常:9ポイント	最小:8ポイント	通常:8ポイント	最小:8ポイント
折込ページ数		—		—	
要点の示し方※2	囲みの有無	有		無	
	着色の有無	有		無	
	文字の大きさ	通常:10ポイント	最小:9ポイント	通常:10ポイント	最小:10ポイント
	その他	写真4点, 挿絵1点		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		335点		253点	
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	無		無	
	行間	—		—	

各社共通の比較箇所

※1:第2・3学年「足袋の季節」

※2:第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3:第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★:第1学年

特別の教科 道徳(病弱)

発行者の番号・略称		232 廣あかつき		233 日科		
書名		中学生の道徳		道徳 中学校		
病弱・身体虚弱の生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等	障害の理解に関わる内容がある。	教材数 14 例：1年「二枚の写真」で、筋ジストロフィーの生徒と、同級生との交流を取り上げている。		教材数 14 例：3年「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」で、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の新聞記事を基にした討論について取り上げている。		
	情報機器の活用等に関わる内容がある。	教材数 7 例：2年「いつでも・どこでも・誰とでも」で、時と場に応じた情報機器の利用や、コミュニケーションの在り方について取り上げている。		教材数 5 例：1年「グループ」で、スマートフォンのグループトークによるコミュニケーションの問題を取り上げている。		
	健康・医療に関わる内容がある。	教材数 15 例：3年「誰かのために」で、ガンを患った母親が「子供のために」と希望をもって生きた話を取り上げている。		教材数 11 例：2年「コンスタンチン君 命のりレー」で、大やけどを負った子供が、国を越えた様々な人々の助けにより、一命を取りとめる話を取り上げられている。		
病弱・身体虚弱の障害への配慮を要する内容等	体育的活動や身体表現を含む内容がある。	教材数 0		教材数 0		
表記・表現及び使用上の便宜	本の大きさ(別冊版)		AB(AB)		B5	
	総ページ数		720 ページ		582 ページ	
	教材等の総数		123		156	
	文字の大きさ※1	本文(通常, 最小)	通常:13ポイント	最小:10.5ポイント	通常:12ポイント	最小:12ポイント
		欄外(通常, 最小)	通常:9ポイント	最小:9ポイント	通常:8ポイント	最小:8ポイント
	折込ページ数		—		—	
	要点の示し方※2	囲みの有無	有		有	
		着色の有無	有		有	
		文字の大きさ	通常10.5ポイント	最小:10.5ポイント	通常:12ポイント	最小:12ポイント
		その他	—		—	
写真・図表・グラフ・絵の掲載数 ★		103点		134点		
書き込み欄の大きさ※3	罫線の有無	有		無		
	行間	8mm		—		

各社共通の比較箇所

※1:第2・3学年「足袋の季節」

※2:第2・3学年「足袋の季節」における「学習の手引」

※3:第1学年「学習の振り返り」「学習の記録」等

★:第1学年